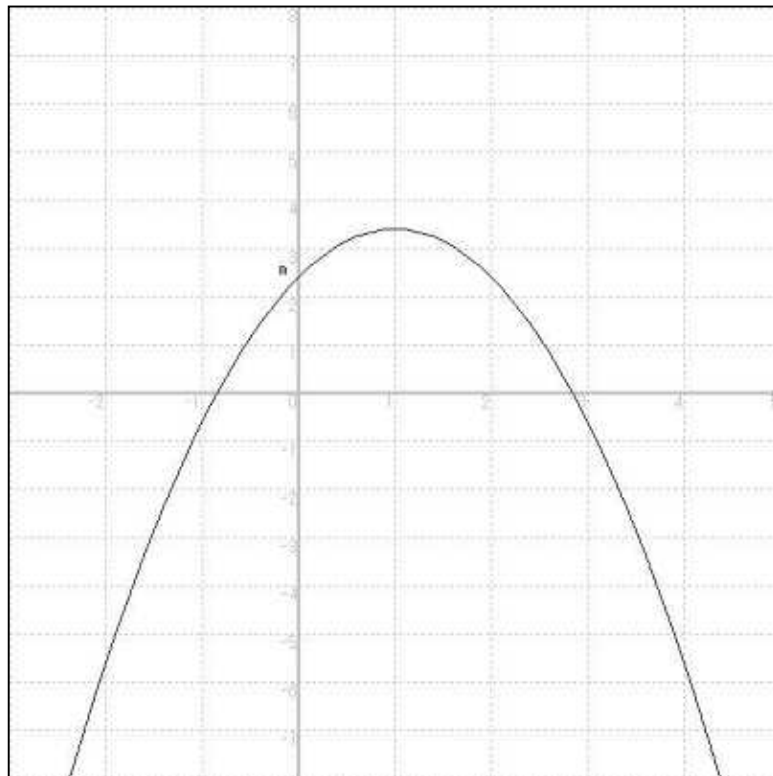


「S1p089RO6.bas」

1. ファイル名 : Jis Full BASIC
 ユーザープログラム 「S1p089RO6.bas」
2. 対応分野 : 数研出版 数学 p89 2次関数のグラフとx軸の関係
 応用例題6 2次関数 $y = -x^2 + 2x + m$ のグラフとx軸の共有点の個数は、定数 m の値によってどのように変わるか。
3. 実行 : Jis Full BASIC 起動後、「開く」「実行」と操作すると
 (1) $m = -1$ (既定値) の場合の関数 $y = -x^2 + 2x + m$ のグラフが表示される。
4. 操作 :



- (1) [] [] キーで図の m を上下に移動させることができる。
 - (2) [Enter] キーで作業を終了する。
5. 目的 :
- (1) m の値に応じて、グラフを上下させ、 x 軸の関係を理解させる。この例題では、軸が固定していることなども、理解させる。
6. 利用時期 :
- (1) 応用例題6 (p89) 指導時
 定数 m を変化させること、すなわち、グラフの上下と関数の値の最大の関係性を指導する。
 - (2) 指導後の追認作業として用いても良い。
 - (3) 練習29 2次関数 $y = x^2 - x + m$ のグラフと x 軸の共有点の個数は、定数 m の値によってどのように変わるか。 (「S1p089RS29.bas」)